

2023年

登録切断穿孔基幹技能者

試験問題（90分）

注意事項

- 1、試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
- 2、受講番号と氏名を解答用紙の所定の欄に必ず記入すること。
- 3、本冊子に落丁・乱丁・印刷不鮮明の個所などがあつた場合には、申し出ること。
- 4、答案ができあがったら、監督者の指示に従って提出すること。ただし、試験開始30分以内の場合は、退室できないので、静かに着席していること。
- 5、解答の方法は次のとおりとする。  
正解と思うものを（1～4）の中から1つだけ選択し、解答用紙の番号に○印にて記入すること。2つ以上記入した場合は、誤答となります。
- 6、解答を訂正する場合は、訂正する解答を消しゴムできれいに消した後、新しい解答を記入すること。
- 7、解答用紙の受講番号・氏名を正しく記入していない者は、採点せずに0点とすること。

[問題作成]

ダイヤモンド工事業協同組合  
登録切断穿孔基幹技能者試験委員会



問題 1

「登録基幹技能者の活用」に関する次の記述のうち、最も適切でない番号に○印をつけよ。

- ① 建設生産現場の生産性の向上が期待される。
- ② 建設生産現場の職場環境改善が期待される。
- ③ 登録基幹技能者を雇用・育成する優良な専門工事業者の受注機会の拡大が期待される。
- ④ 建設産業の担い手の確保・育成に大きく寄与することが期待される。

問題 2

「公共工事における登録基幹技能者の評価・活用」に関する次の記述のうち、最も適切でない番号に○印をつけよ。

- ① 公共工事における総合評価落札方式においても評価・活用されている。
- ② 国土交通省では、全地方整備局の半数程度で評価・活用されている。
- ③ 令和2年度末現在で29都道府県・政令指定都市で評価・活用されている。
- ④ 都市再生機構等の独立行政法人においても評価導入されている。

問題 3

建設業は製造業よりも安全対策が難しいと言われるが、その理由として、次の記述のうち、最も適切でない番号に○印をつけよ。

- ① 作業内容が変わるため、作業の慣れによる安全効果が期待しにくい。
- ② 各作業間の連絡、調整を図ることが困難である。
- ③ 継続的な教育、訓練は実施しやすい。
- ④ 安全対策の規格化や標準化は困難である。

問題 4

OJTは、職場の上司が部下育成のために、日常の作業を通して行う指導・教育のことであり、【指導・教育の基本認識】に関する次の記述のうち、最も適切でない番号に○印をつけよ。

- ① 上司の仕事そのものであるとの認識のもとにOJTを行う。
- ② 上司の能力レベルから指導育成の目標を立てる。
- ③ OJTの実施により業績低下の言い訳になってはならないとされる。
- ④ 組織外の実態、考え方などに触れて視野を拡大する機会を提供する。

問題 5

建設現場で毎日行われている安全施工サイクル活動に関する次の記述のうち、最も適切でない番号に○印をつけよ。

- ① 1日の安全施工サイクルとは、朝礼、作業前ミーティングから作業終了時の確認までの節目節目に作業場所の巡視や打合せを盛り込んだ安全管理サイクルのことをいう。
- ② 元方事業者は、関係請負人に対し、毎日、その労働者を集め、作業開始前の安全衛生打合せをするよう指導する必要がある。
- ③ リスクアセスメントの目的は積極的な災害防止活動を行うためではない。
- ④ 危険予知（KY）活動は、災害発生要因を先取りし、現場や作業に潜む危険性、有害性を自主的に発見し、その問題点を解決する活動で、小集団で行われる。

問題 6

価格戦略について、次の記述のうち、最も適切な番号に○印をつけよ。

- ① 市場価格は売り手が価格を決定する。
- ② プライスリーダーが存在する寡占市場は価格競争が激しい。
- ③ コストリーダーシップ戦略では低価格競争になりやすい。
- ④ プライスリーダーがコストリーダーになることはない。

問題 7

○J Tを進める上で重要なポイントは、教える相手に対して、何をどの程度教えるか把握したうえで指導することであり、【目標の設定】に関する次の記述のうち、最も適切でない番号に○印をつけよ。

- ① 日常の仕事を通じて行う指導・教育が可能な目標・項目であること。
- ② 部下が責任感とリーダーシップを発揮して取り組めるものであること。
- ③ 目標は定量的で具体的であること。
- ④ 目標は設定期間終了時に評価が可能であること。

問題 8

建設業の特徴について、次の記述のうち、最も適切な番号に○印をつけよ。

- ① 規制産業ではないので、誰でも参入可能である。
- ② 受注型産業であり、屋外現地単品生産が基本である。
- ③ 一般的に建設業は製造業と比較して、時間・コストに対して厳しい。
- ④ 資本集約型産業であり、設備費の割合が最も高い産業である。

問題 9

労働安全衛生法について述べた、次の記述のうち、最も適切な番号に○印をつけよ。

- ① 主として使用者と労働者という雇用関係を前提として、最低基準の確保に重点を置いた規制の仕方をしている。
- ② 火薬類の製造、販売、貯蔵、運搬、消費等の取扱いを規制している。
- ③ 工事現場付近の通行者や通行車両と事故を起こした時に適用される。
- ④ 労働者の安全と健康を確保するとともに、快適な作業環境の形成を促進する事を目的とする。

問題 10

工程管理の意義について、次の記述のうち、最も適切な番号に○印をつけよ。

- ① 工事の施工にあたっては、決められた工期内に仕上げる事だけに専念しなければならない。
- ② 工程管理は、着工から完成までの工程系列の単なる時間的管理でなければならない。
- ③ 工程管理は完成期日を守るための進捗管理だけが目的とされていたが、本質的には広範囲な内容を含んでいる重要な管理である。
- ④ 受注者側の工程管理に、工事経営（能率的・経済的）の管理を加えてはならない。

問題 11

○JTを進める上で指導と仕事の与え方には深い関係があり、【指導方法】に関する次の記述のうち、最も適切でない番号に○印をつけよ。

- ① 指導で大切なことは、徹底して指示通りにやらせることである。
- ② 指導で大切なことは、自分で考え、工夫させ、それを試させることである。
- ③ 指導で大切なことは、試させた結果を評価することである。
- ④ 指導の手法には、「教える」「見習わせる」「経験させる」「自己啓発させる」ことである。

問題 12

労働安全衛生法第26条には「作業員が守らなければならない6つの義務が定められている」次の記述のうち、【6つの義務に該当しない事項】を（1～（4））より選択し、その番号に○印をつけよ。

- ① 安全状態を保つ義務
- ② 保護具の着用・使用義務
- ③ 危険行動の禁止義務
- ④ 感電災害防止義務

問題 13

配布資料の「建設業法のポイント」に関する下記の記述のうち、最も適切でない番号に○印をつけよ。

- ① 建設業許可には、国土交通大臣許可と都道府県知事許可があり、さらに特定建設業許可と一般建設業許可に分類されている。
- ② 建設業の許可には、「解体工事」が追加されて現在29業種となっている。
- ③ 建設業許可の有効期限は許可を受けてから3年間で、以降3年毎の更新が必要である。
- ④ 施工体制台帳は、1次下請け、2次下請け、などの工事施工を請け負う全ての業者名、各業者の施工範囲、各業者の技術者氏名等を記載した台帳をいう。

問題 14

「見積原価の管理」の【見積時の確認事項】に関する次の記述のうち、最も適切でない番号に○印をつけよ。

- ① 現場条件の確認
- ② 設計図書、施工図等の確認
- ③ 工程の確認
- ④ 安全管理の確認

問題 15

「現場における原価管理は、実行予算という原価目標を達成することである」とされる。実行予算書作成に関する次の記述のうち、最も適切でない番号に○印をつけよ。

- ① 確定した契約金額から利益等を残して作成する。
- ② 自社（現場）が管理しやすいように作成する。
- ③ 材工の場合は（材料費と労務費）一式工事として作成する。
- ④ 実際に注文したり手配したりする数量で算定して作成する。

問題 16

工程管理の手順のうち、計画の段階の記述のうち、最も適切でない番号に○印をつけよ。

- ① 施工計画
- ② 是正処理計画
- ③ 使用計画
- ④ 工程計画

問題 17

施工管理について、次の記載のうち、最も適切な番号に○印をつけよ。

- ① 品質管理は、設計図書記載の規格以上のモノを使用すれば間違いない。
- ② 工程管理は、経済的な工期を確保するために工期延長もやむを得ない。
- ③ 安全管理は、すべての管理項目の中において常に最優先事項とする。
- ④ 原価管理は、利益確保のために必ず予算内に収まらなければならない。

問題 18

コンクリート切断業者の資材管理について、次の記述のうち、最も関連性の低い番号に○印をつけよ。

- ① 人材管理（ヒトの管理）
- ② 資材管理（モノの管理）
- ③ 財務管理（カネの管理）
- ④ 情報管理（データの管理）

問題 19

原価管理では、元請対応が重要である。次の記述のうち、最も適切でない番号に○印をつけよ。

- ① 毎日の作業日報で契約内と契約外工事を明確にしておく。
- ② 作業日報は工事完了時期にまとめて元請に提出する。
- ③ 契約外の追加・変更工事の追加・変更契約及び支払いの請求をする。
- ④ 契約外常用工事の請求書により常用精算する。

問題 20

設計品質と施工品質に関する次の記述のうち、最も適切でない番号に○印をつけよ。

- ① 品質には設計段階で定められる設計品質（ねらいの品質）と、施工段階で実現する施工品質（出来栄の品質）がある。
- ② 施工品質は、設計品質に関係なく、施工実態やコスト等を考慮して無理なく実現できるよう施工者が決める品質である。
- ③ 設計図書に特定メーカーの製品を特記したり、施工方法を指示したりするなどして作り方を具体的に定めるものを「仕様規定」という。
- ④ 詳細な方法を規定しないで、求める品質を明示し、それが満たされればよいとするのが「性能規定」である。

問題 21

品質管理における『QC 7つ道具』に関する次の記述のうち、最も適切でない番号に○印をつけよ。

- ① 特性要因図とは、品質管理上問題になっている特性とそれに関係する要因の因果関係を魚の骨のような形に整理する図である。
- ② 散布図とは、関連あると思われる2つの要因を縦軸と横軸にとって打点した図で、打点の分布の形状から2つの要因の関連が把握できる。
- ③ チェックシートとは、特性要因図等で整理された要因の発生状況を把握するためのシートである。
- ④ 管理図とは、チェックシート等で得られた要因の発生状況を棒グラフにしたもので、ばらつきの状況の評価に用いる。

問題 22

作業改善の目標について、次の記述のうち、最も適切でない番号に○印をつけよ。

- ① 疲労の軽減・・・疲労はできるだけ少なく、かつ安全に作業ができるように改善する。
- ② 品質の向上・・・作業に使用する機械設備は、最も品質の良いものを使用する。
- ③ 経費の削減・・・現場では経費削減を考慮しながら作業する。
- ④ 時間の短縮・・・疲労の軽減にも工程にも結びつく。

問題 23

「作業標準書による施工品質の確保・向上」における「段取り八分」とは、【PDCAサイクル】の何に該当するのか、最も適切な番号に○印をつけよ。

- ① P: Plan (計画を立てる)
- ② D: Do (計画に基づき実行する)
- ③ C: Check (結果と計画を比べて検討する)
- ④ A: Action (適切な処置を施す)

問題 24

2020年4月1日以降民法の改正による契約不適合責任（瑕疵担保責任）に関連する事項に関する次の記述のうち、最も適切でない番号に○印をつけよ。

- ① これまでの「瑕疵（かし）担保責任」が「契約不適合責任」に改められた。
- ② 瑕疵（かし）も契約不適合も建設物の欠陥を意味する法律上の用語である。
- ③ 契約不適合責任、瑕疵担保責任は、法律で定められた欠陥に対する無償補修や賠償を負うことである
- ④ 建設物に瑕疵があった場合は、発注者は施工者に対して「相当の期限を定めて補修を請求する」「補修に代えて、または補修とともに損害賠償を請求する」ことはできないとされている。

問題 25

資材管理について、次の記述のうち、最も適切な番号に○印をつけよ。

- ① 大規模工事は受注余力を考慮して取り組まなければならない。
- ② 切断機械の整備状況、保有台数は受注活動と関連性はない。
- ③ 元請工期より経済的な動員数による工期を優先すべきである。
- ④ 刃物在庫がある場合は、突貫工事であっても現場に合わせた刃先の選択は必要ない。